

裾野麗峰山の会山行報告書 (NO. 1517)

文・石和加代子 写真・後藤

日 時 2012. 10. 06 (土) 晴 ~ 07 (日) 雨のち晴
山 域 ●山梨県・上日川峠 1580m ~ 大菩薩嶺 2057m = 標高差 477m
(埼玉県・両神山 1723m 中止)
●山梨県・西沢溪谷

参加者=後藤、村山、峰田、浜道、石和 5名

今年の秋合宿は奥秩父の両神山を計画する。

長泉を5時発、車は御殿場、河口湖、塩山と走り7時すぎに上日川峠の駐車場に着く。7時20分出発、林道を歩く。20分ほどで福ちゃん荘を通過、8時20分に大菩薩峠の介山荘着、峠は広い。まだ人は少ない。

稜線の登山道になり、冷たい風があたる。左後方に見えた富士山は低かったが、開けた展望を見ながらグングン登っていくと、いつもの立派な大きな富士山になっていた。賽ノ河原、神部岩、雷岩を通過して9時6分に林の中の大菩薩嶺の頂上に到着する。標柱と三等三角点はあるが展望はない。少し紅葉した木がある。

すぐに折り返し、9時16分雷岩の分岐で展望を楽しむ。今度は唐松尾根を下る。しばらくは小さな岩がごろごろしている。10時福ちゃん荘を通過して、上日川峠には10時15分に着く。明日の足慣らしのための、約3時間のコースでした。

時間も早いので、ひと風呂あびることなく、明日の本命の目的地両神山登山口へ向かう。「山と高原地図」では道路はわかりにくく迷ったが、いかにも落石がきそうな狭い道路、廃村を通過して上落合橋に着く。登山口にはいきなりはしごが立っていた。車が数台停まっている。午後1時、今から登るには遅い。すぐ下にダイレクトコースの出口を見つける。

両神山登山を明日に控え、テント場を探して、早くから夕飯モードに入る。夜に雨が降る。朝5時起床、雨はやんでいた。6時乗車、小雨がまた降りだし、ラジオの天気予報を聞き両神山登山は中止とする。雨が降っていない山域はどこだ？

途中の西沢溪谷を歩こうと車を向けるが、ここでも雨。しばらく様子を見てから、7時7分小雨の中雨具をつけて歩き出す。秩父多摩甲斐国立公園の中に位置する西沢溪谷はしっかり整備されている。西沢を左に見ながら遊歩道を進む。巨大な花崗岩の間を勢いのある水が走っている。いくつか滝があり、エメラルドグリーンの釜や淵は幻想的だ。方丈橋を渡ると沢は右に変わる。

七ツ釜五段の滝はみごとだ。不動滝を最後に見て、長い階段を上りきると休憩所がある。かつてトロッコが通っていたレールの残骸がある。緩やかな山道を下っていく。

きのこ採りのおじさんに声をかけたら、説明してくれて採れたヤナギダケや大きなシメジやら下さった。11時前に駐車場にもどる。一周約10kmを約4時間のハイキングだった。

ももの里温泉に寄り、渋滞の河口湖・須走周辺をうまく抜け、夕方に長泉に帰ってきた。3連休の中日がいい天気にならず、意気込んだ合宿だったが、ちょっと不消化な感じが残ってしまった。



大菩薩嶺



テント泊経験



七ツ釜五段滝



西沢渓谷